

Life with ASKA

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する



すべての絆と
ともに歩む

株主の皆さまへ

おかげさまで創立100周年を迎えました あすか製薬ホールディングス株式会社設立を決定しました

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第100期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期は、新製品発売に関する減価償却費や開発ステージの進展に伴う研究開発費等の未来志向の投資が進んだことにより前期から減益となりましたが、産婦人科領域の新薬「レルミナ」や「フリウェル配合錠」の売上が順調に拡大したほか、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」の市場浸透も進展し、創立以来初となる売上高500億円を達成しました。

また、おかげさまで、当社は本年6月16日に

創立100周年を迎えることができました。これからの100年もこれまでと同様、人々の生命(いのち)に関わる企業として、すべての絆とともに歩んでまいります。

なお、当社は2021年4月1日を効力発生日として、単独株式移転の方法により、完全親会社である「あすか製薬ホールディングス株式会社」の設立を決定しました。

今後はヘルスケア領域を中心に関連事業の強化をはかり、グループ全体として「トータルヘルスケアカンパニー」を目指し、継続的な企業価値の向上を追求してまいります。

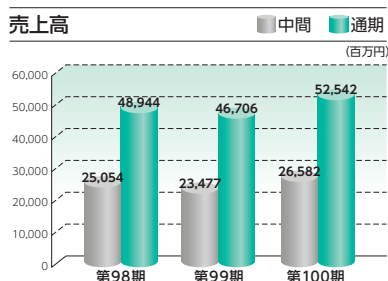
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



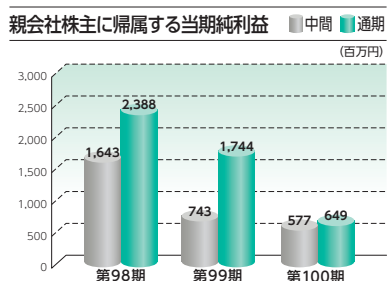
代表取締役社長 山口 隆

財務ハイライト (連結)

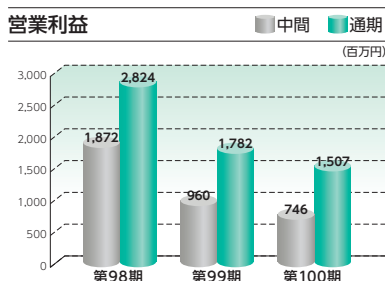
売上高



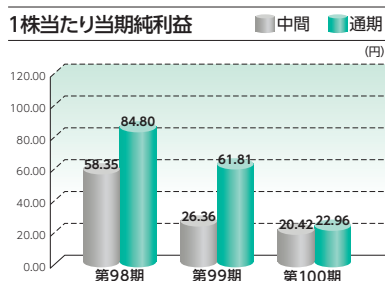
親会社株主に帰属する当期純利益



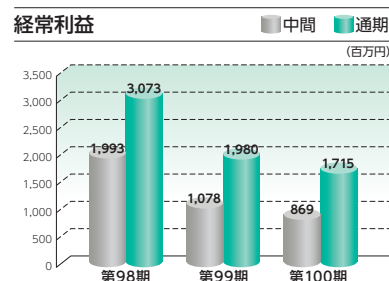
営業利益



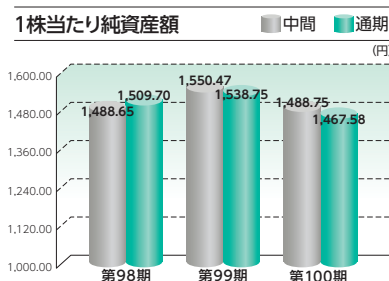
1株当たり当期純利益



経常利益



1株当たり純資産額



(注) 当期末の自己資本比率は51.8%です。

事業の概況

当社グループは、当連結会計年度の期首より、収益認識に関する会計基準等を早期適用しております。この影響等から、当連結会計年度の売上高は、前期から58億3千6百万円増加し、525億4千2百万円(前期比12.5%増)となりました。

利益面につきましては、開発品の進展に伴う研究開発費の増加等に

よる販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益15億7百万円(前期比15.5%減)、経常利益17億1千5百万円(前期比13.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は当社研究所移転に伴う特別損失等を計上したことにより、6億4千9百万円(前期比62.8%減)といずれも減益となりました。

【セグメント別の業績】

医薬品事業

2019年10月の薬価改定による減収要因があったものの、新会計基準適用に加えて2019年3月に発売したGnRHアンタゴニスト「レルミナ」や2018年12月に発売したオーソライズド・ジェネリック「フリウェル配合錠」などの産婦人科領域の新製品の売上拡大、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リファキシマ」の売上伸長等により、

売上高は478億5千1百万円(前期比14.6%増)と増収となりました。

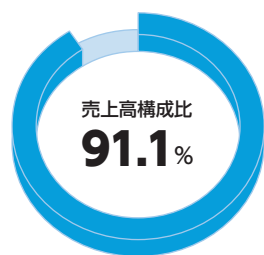
利益面では、新製品発売に伴い販売権の償却を開始したこと等による減価償却費の増加や、開発ステージの進展に伴う研究開発費の増大を受け、セグメント利益は49億7百万円(前期比1.9%減)と減益となりました。

その他

動物用医薬品、検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、いずれも売上減少となったものの、販売費及び一般管理費も減少し、売上高46億9千万円(前期比5.2%減)、

セグメント利益2億6千5百万円(前期比34.0%増)と減収増益となりました。

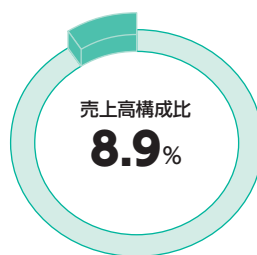
医薬品事業



売上高
478億5千1百万円
前期比 **14.6%↑**

セグメント利益
49億7百万円
前期比 **1.9%↓**

その他



売上高
46億9千万円
前期比 **5.2%↓**

セグメント利益
2億6千5百万円
前期比 **34.0%↑**

【研究開発の状況】

甲状腺ホルモン静注液AKP-015(レボチロキシナトリウム)は、2020年1月に製造販売承認を取得しました。

選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914(ウリプリスタル)は、臨床試験を終了し、2019年12月に製造販売承認を申請しました。

武田薬品工業株式会社から導入したGnRHアンタゴニストTAK-385(レルゴリクス)は、2019年3月に子宮筋腫治療薬として発売しておりますが、さらに適応追加として子宮内膜症を対象としたPhaseⅢ試験

を2019年5月より実施しております。

難吸収性抗菌薬L-105(リファキシミン)は、2016年11月に肝性脳症における高アンモニア血症の改善薬として発売しました。さらに小児適応拡大を目的としたPhaseⅡ/Ⅲ試験を2019年12月より実施しております。

新規アンドロゲン受容体モジュレーターAKP-009は前立腺肥大症を対象としたPhaseⅡ試験を2019年12月より実施しております。

開発パイプライン (2020年5月時点)

2019年11月時点からの変更点

開発番号(一般名)/領域・効能	PhⅠ	PhⅡ	PhⅢ	申請	承認
AKP-015(レボチロキシナトリウム) 粘液水腫性昏睡/甲状腺機能低下症					承認取得
CDB-2914(ウリプリスタル) 子宮筋腫				申請済み	
TAK-385(レルゴリクス) 子宮内膜症			PhⅢ実施中		
AKP-501(フォリトロピンガンマ) 不妊症	PhⅠ終了				
L-105(リファキシミン) 肝性脳症(小児)			PhⅡ/Ⅲ実施中		
L-105(リファキシミン) クローン病	PhⅠ終了				
AKP-009 前立腺肥大症		PhⅡ実施中			

おかげさまで2020年6月16日に創立100周年を迎えることができました
ひとえに皆さまのご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます

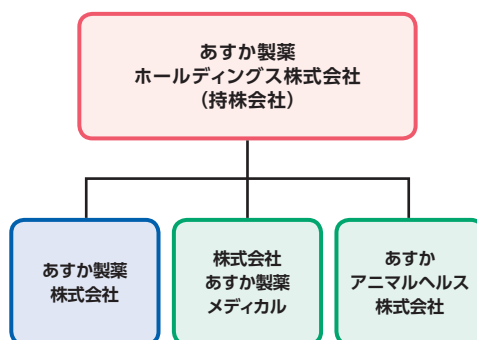
◆ トータルヘルスケアカンパニー「あすか製薬ホールディングス」設立へ

2021年4月1日(予定)を期日として、当社の単独株式移転により、持株会社(完全親会社)である「あすか製薬ホールディングス株式会社」を設立することを決定いたしました。

今後、さらなる企業価値の向上を追求するため、持株会社体制へ移行し、“トータルヘルスケアカンパニー”を目指してまいります。

なお、当社の株主の皆さまに対しては、本株式移転の際に、当社の株式1株につき持株会社の普通株式1株が割り当てられます。

また、2021年3月期の当社期末配当金につきましては、これまでと同様の配当性向に基づき、2021年3月31日時点の当社株主の皆さまに配当を実施させていただく予定です。



すべての絆とともに歩む



2020年 6月 創立100周年を迎える

2020年 4月 川崎研究所をiPark(神奈川県藤沢市)へ移転、
湘南研究所を新設

2019年 3月 GnRHアンタゴニスト「レルミナ」を発売

2016年 11月 難吸収性抗菌薬「リフキシマ」を発売

2005年 10月 社名を「あすか製薬株式会社」と改称

2001年 9月 本社社屋を東京都港区芝浦に竣工、移転

1999年 9月 経口避妊剤「アンジュ」を発売

1997年 4月 国際駐在員事務所をドイツ・フランクフルトに開設

1991年 6月 山口 隆 社長就任

1986年10月 H₂受容体拮抗剤「アルタット」を発売

1981年 9月 前立腺肥大症治療剤「プロスタール」を発売



1980年 4月 いわき工場を福島県いわき市に新設

1962年 11月 本社を東京都港区赤坂に移転

1955年 9月 東京証券取引所に株式を上場

1953年 12月 唾液腺ホルモン製剤「パロチン」を発売

1952年1月 山口 榮一 社長就任

1945年 10月
社名を
「帝国臓器製薬株式会社」と
改称



1936年 1月 高津工場を高津町(現・神奈川県川崎市)に新設

1929年 6月 法人に改組「株式会社帝国社臓器薬研究所」となる

1922年 7月 甲状腺ホルモン剤「チラーゼン」を発売

1921年 6月 製品第1号「スペルマチン」を発売



1920年 6月 創業者 山口 八十八、帝国社臓器薬研究所を神奈川県横浜市に創立

会社の概要 (2020年6月25日現在)

社名	あすか製薬株式会社 ASKA Pharmaceutical Co.,Ltd.
設立	1929年6月28日 (創立1920年6月16日)
資本金	11億9,790万円
従業員数	807名(連結) 756名(単体) (3月31日現在)
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
研究所	湘南研究所(神奈川県藤沢市)
工場	いわき工場(福島県いわき市)
営業所	全国20営業所
連結対象子会社	株式会社あすか製薬メディカル あすかアニマルヘルス株式会社
持分法適用関連会社	NeoASKA Pharma Private Limited

大株主(上位10位)(2020年3月31日現在)

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
1. 武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,556	5.4
3. ゼリア新薬工業株式会社	1,528	5.3
4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,450	5.0
5. 株式会社三菱UFJ銀行	1,100	3.8
6. 山口 隆	872	3.0
7. あすか製薬従業員持株会	577	2.0
8. 株式会社ヤマグチ	536	1.8
9. あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
10. 日本生命保険相互会社	522	1.8

(注) 1. 当社は自己株式を2,069,879株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話(通話料無料)0120-232-711 https://www.tr.mufig.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。特別口座に登録された株券をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内:少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

役員 (2020年6月25日現在)

■取締役

代表取締役社長	山口 隆
代表取締役専務取締役	丸尾 篤嗣
常務取締役	加藤 和彦
常務取締役	山口 惣大
取締役常務執行役員	福井 雄一郎
取締役常務執行役員	熊野 郁雄
社外取締役	吉村 泰典
社外取締役	山中 通三
社外取締役	播野 勤

■監査役

常勤監査役	小松 哲
常勤監査役	鬼頭 秀滋
社外監査役	木村 高
社外監査役	福地 啓

■執行役員

常務執行役員	蓮見 幸市
常務執行役員	西岡 裕久
執行役員	濱崎 秀弘
執行役員	軍司 国弘
執行役員	庭山 芳樹
執行役員	海堀 文豊
執行役員	殿村 寛郎
執行役員	大窪 英教
執行役員	知窪 一博
執行役員	森 麻衣子

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	30,563,199株
単元株式数	100株
株主数	5,401名

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元へ到着してから約2ヶ月間です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4514

いいかば 検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入。)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL:info@e-kabunushi.com